

# 1. 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2973400183		
法人名	有限会社大和ケアサービス		
事業所名	グループホーム和・泉		
所在地	奈良県北葛城郡河合町泉台3丁目8番地24		
自己評価作成日	平成29年12月17日	評価結果市町村受理日	

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaiqokensaku.mhlw.go.jp/29/index.php?action_kouhvu_detail_2017_022_kani=true&amp;JiqvosvCd=2973400183-008PrefCd=29&amp;Versi">www.kaiqokensaku.mhlw.go.jp/29/index.php?action_kouhvu_detail_2017_022_kani=true&amp;JiqvosvCd=2973400183-008PrefCd=29&amp;Versi</a>
----------	--

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利法人Nネット
所在地	奈良市登大路町36番地大和ビル3F
訪問調査日	2018年2月27日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

運営理念をベースとして、利用者の皆様やそのご家族様に常に寄り添う事に努めております。主治医はじめ関係機関との連携を図り、利用者の方の状況を共有しております。ご家族様とは、面会の際の対話や定期的な連絡をとり信頼関係を構築しております。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

北に聖徳太子ゆかりの法隆寺、南には多数の古墳が存在する馬見丘陵公園があり、その間を大和川が流れている。当事業所は、大和川に面した木造平屋建て2ユニットのホームで、生駒山や信貴山を望める開放感のある素晴らしい環境の中にある。中庭には利用者の楽しみのひとつである梅ジュースになる梅の木が植樹され、玄関前の花壇の花は利用者や訪問者の目を楽しませている。事業所の代表者、職員は「ここ(和・泉)は利用者さんの生活の場」であることを常に念頭に置き、家庭的な雰囲気の中で、一人ひとりに合わせた生活が送れるように日々ケアの実践に努めている。

## サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

## 自己評価および外部評価結果

セル内の改行は、(Alt+)- + (Enter+)-です。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	運営理念に基づき、自分の身内ならどうするか？を常に念頭において行動しています。	「家庭的な雰囲気の中、人としての尊厳を大切に、その人にとって居心地の良い空間を提供していく様に努める。感情や思いを大切に、安心ある生活の実現に努める」という理念を玄関に掲げケアの実践につなげている。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域イベント(夏祭り)への参加や診療所合同での交流会を計画し地域との交流に努めています。	自治会には加入できていないが、自治会からは「自治会だより」が届き、夏祭りのお誘いも頂き参加し、災害時の協力もお願いしている。近くの短大の留学生が話し合い手やお茶だしをボランティアで来てくれた。医療機関が地域住民の買い物支援のためのワゴン車へ職員の同乗を申し出ている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	施設見学や入居希望の方々にホームの様子を見学して頂いています。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	3ヶ月に一回の開催により利用者の方の様子や行事予定、意見・情報交換を行っております。	定期的な開催はなく、協力医、地域の老人会の参加で今年度は年2回開催した。事業所と協力医の業務連絡が主な内容となっている。	地域との連携をより深め、ホームの情報を発信し又地域の幅広い意見を運営に反映する為にも町担当者、地域包括支援センター職員、自治会長、民生委員、家族等に積極的に参加を呼びかけ、年6回の運営推進会議の開催を期待する。
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括支援センター・町役場協同にて、初期集中支援・認知症カフェ・地域ケア会議に参加している。	生活保護受給者の受入れや住所地特例が適用されない市町村の利用希望者の受入れなど困難な事例を町担当者と相談し助言を受けている。地域包括支援センター職員より認知症カフェのオブザーバー依頼を受けるなど連携に努めている。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	防犯・安全確保の観点より玄関は施錠しております。ご利用者より散策や外気浴のご要望ある時に対応しております。	身体拘束についての職員研修は行っていないが、日々申し送り等で話し合い身体拘束をしないケアに努めている。終末期医療の利用者が点滴中のチューブを無意識にはずさないよう、やむを得ずミトンをつけている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	見守りカメラや2人での介助等を用いて常に説明の出来る介護や支援を実施して、虐待が起こる状況を未然に防ぐ様に努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を利用される方がおられるので利用される事となった背景の理解と関係者(弁護士)との話し合いを通じてより理解を深めております。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に、重要事項説明書並びに契約内容をご説明し疑問点や不安な事を聞くように努めております。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者ご家族様とは、面会や電話連絡を通して意見や提案をして頂き易い環境を作る様に努めております。	家族の来訪時には意見要望を聴くようにしているが、運営に関する苦情や要望は特になし。利用者の意見や要望は、日頃の関わりの中で丁寧に聴く様に心がけている。運営推進会議に家族の参加を促し定期的に意見や要望を聴く機会を設ける取組みがあれば、なお良いと思われる。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	提案のあった事案を全職員へ通達し、また個別での話し合いにより意見や提案があればその都度聞き対応する様に努力しています。	法人代表者が週3～4日事業所に出向き、職員に話し掛け意見や要望が言い易い環境をつくっている。管理者は職員から何時でも何でも相談できる親しみやすい雰囲気をもっている方である。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者や職員の努力・実績・勤務状況を把握し、現場より提案や意見を聞いて機器の導入などを用いて働きやすい環境の実現に努めております。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員のスキルアップ向上の為、研修受講の機会を確保し研修費用など必要な支援を行っております。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同町内にある他グループホームの管理者と共に認知症カフェや地域ケア会議等を通じて意見交換を行っております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人とゆっくり話すと共に、ご家族等身近な人からもお話を聞き、得た情報等を用いて馴染みの関係になれる様努めている。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談時又は必要に応じ気軽に話して頂ける様な環境づくりに努めております。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居相談時に聞き得た情報にて、介護サービス全般の情報提供をおこなっております。		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	適時適応に応じて生きがいを持って頂ける様に軽作業のお手伝いを共に行っております。		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時に、生活の状況や気付きをお伝えさせて頂き 同じ情報を共有して頂く事で、ご家族様にも介護に参加して頂ける様に配慮しております。		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会などに制限など設けずご友人などの来訪時には 楽しい時間を過ごして頂ける様に環境設定等に努めております。	知人や地域の友人の来訪を大切にし、家族との外食や以前の老人会への参加などで馴染みの関係が途切れないよう継続支援に努めている。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションや日ごろの食事の際の座席配置などに 配慮し、友好的関係が構築出来るよう支援させて頂いております。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	以前利用されていたご家族様がときおり来訪して下さり近況などの話しや、礼状の交換も続けておられる方もおられます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居される前の情報収集と入居後の行動や会話から想いを把握する様に努めております。またご家族さまからも継続して情報を得る様にしております。認知症状の進行によりご本人本位かどうかは課題があります。	本人から思いや意向を聴くことが難しい利用者には、日々の生活の中での何気ない仕事などで、一人ひとりの思いや意向を把握するように努めている。又得られた情報は職員間の日々の話し合いで共有している。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用前に、基本情報・アセスメントや聞き取り等から1人1人の生活歴や生活環境等の把握に努め日常の行動に対して細かい気付きの目を持ってケアに努めております。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日のケア記録等や細かな状態変化等を見逃さない様に努め医療との連携を図っております。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用前の事前情報を基に本人、家族様から情報を得入居からは業務の中で職員から意見を聞きながらご本人の意向が反映される様に計画を作成している	利用者本人や家族の意見を聴き、利用者ごとの担当職員が援助計画から介護計画案を作成し、ケアマネージャーが最終確認している。利用者により3カ月から5カ月ごとにモニタリングを行い、介護計画を見直している。	介護計画は身体介護中心になっているが、各利用者の思いや生き甲斐を基本情報にとり入れた笑顔がみえる生活がおくることができる介護計画になることを期待する。
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日利用者のケア記録を記入し、変化については申し送りをして情報の共有・計画の見直しを行っている。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様からの要望等により医療保険を利用したデイケアとの連携や情報提供を行っております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域にある有償ボランティア(音楽療法)等を積極的に取り入れご利用者様に楽しんで頂ける様に支援しております。		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2度の定期往診と体調変化時の臨時往診不具合時に歯科の往診を受けております。	利用者全員が事業所の協力内科医をかかりつけ医にしており、週1回の訪問診療、随時の往診にも対応している。協力医で対応できない婦人科や皮膚科などは協力医の紹介状で家族が付き添いの受診を原則としているが、職員同行の受診支援もしている。歯科の往診もある。24時間対応の訪問看護で必要に応じて医師に取り次ぐ体制が出来ている	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者の状況把握に努め協力医療機関と24時間相談出来る体制があり、日々の健康管理や医療相談を行っている。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院した場合は病院関係者(医師・看護師)ご家族様と連携し早期退院出来るよう情報交換や相談に努めている。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご本人やご家族の意向を確認した後、看取りの指針・看取り同意書を作成。協力医療機関と連携し常に状態報告を行い指示を受けている。職員間においても情報の共有をおこなっている。	看取りに関する指針が明文化されており、パンフレットにも看取り介護を行うと明記されている。利用者が重度化し終末期になると医師が家族に説明し、家族の希望を聞き、看取りの同意書を得て、協力医・看護師と家族・職員が連携し看取りケアに取り組む体制が出来ている。今年度も3名の方の看取り介護を行った。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応マニュアルを定位置に置き想定をシュミレーションしていますが、充分ではありません		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に災害時の対応の確認や消火訓練・避難訓練を行い職員全員が対応出来る様に努めております。 近隣住民の方へ、緊急時における応援も要請しております。	事業所独自で年2回避難訓練を行っている。今後は現場職員へのマニュアルの周知徹底と消防署指導による避難訓練の実施を計画している。スプリンクラーが設置され、防災マニュアルも作成している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者との馴染みの関係を大切にしながらも尊厳の念を忘れずプライドに配慮した暮らし方を心がけております。	一人ひとりの人格を尊重し「さん」付けで名前を呼ぶことを基本とし、昔馴染みの「ちゃん」付けを喜ぶ利用者もいるが、馴れ合いにならない様に心掛けている。トイレ誘導や、失禁には符牒を決めて、さり気ない声かけを心がけている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人が出来る事はご自身で行って頂き出来る事まで介入しない様に努めております。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お一人お一人のペースを大事にしています。朝食等、その方の生活リズムに合わせ時間をずらすなどの対応も行っております。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎月の訪問理美容の他に、日々においてもご本人の希望を考慮した衣服を選んで頂いたり化粧などの支援も行っております。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日常の会話の中から食べたい物をお伺いして出来るだけ取り入れる様に努めております。出来る方に合わせて軽作業をお手伝いして頂ける様に支援しております。	業者が納入する食材で、3度の食事はすべて職員の手作りの家庭料理を提供しており、利用者の評判は良い。職員も利用者と同じ食卓で同じ料理を楽しんでいる。季節の行事やイベントの食事は特別のご馳走を作り利用者楽しんで貰っている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人記録で毎回チェックと嗜好や栄養を考えてバランスの良い食事作りを心掛けています。栄養補助飲料の提供もその日に合わせて提供しております。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後残渣物が無いかの確認と飲み物を必ず飲んでもらえるように支援している。夕食後、必ず歯磨き援助や義歯洗浄・口腔ケアを実施している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを記録や様子を観察しながら声替えやトイレ誘導を行っております。	介護度が重度の方が多くオムツ対応の利用者が多い。今のところオムツ外しの取り組みは出来ていないが、排泄パターンを把握してスムーズなオムツ交換に努めている。介護度が軽度の利用者には適切な声かけでトイレでの排泄支援に努めている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事の工夫や水分摂取に心掛けております。また適度な運動を促しをして、腸の活動促進を出来る様にしております。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴は利用者の方々も楽しみであるので可能な限り本人の希望に添える様に努めております。	入浴は週2回を基本とし、10時から15時を目安に、利用者ごとにお湯を入れ替えて入浴を支援している。入浴回数は利用者の希望に沿うよう努めている。入浴を拒否する利用者には時間をおいて声かけするなどの工夫をしている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用される方の中における活動性を出来るだけ促し自由に休息も取れる様に配慮した支援を行っております。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	往診記録を作成し、医療に関する情報は全員が周知出来るように努めております。何か服薬や薬管理について疑問点がある時は薬剤師と連携を図っております。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	積極的に軽作業の参加をして頂ける様にお声かけをして職員と共にしております。また脳トレなどご本人の負担にならない程度に楽しんで頂いております。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	家族様へはご本人の希望をお伝えして可能であれば買い物や外食などが出来る様に繋いでおります。また気候の良い日は、徒歩可能な方のみではなく車椅子の方も同様に外気に触れて頂ける様に支援を行っております。	ホームの周りを散歩したり、馬見丘陵公園へのドライブに出かけている。介護度が重度で車椅子利用者はホームの庭に出たり、車椅子に乗れない方は居室の窓を開けての外気浴を行っている。	外出は利用者にとり気分転換となり楽しみの一つであり、地域と繋がることにもなる大切な支援である。外出が歩行可能な利用者に偏っている。外出の機会を増やす工夫と共に、重介護度の車椅子利用者の外出支援の工夫を期待する。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族の了解の基、ご本人の不安解消の為、金額を把握して所持して頂いている方も居られます。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用時に、ご家族様から了解を頂いてご本人の希望が有れば電話を掛けたり取り次ぎを行っております。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	くつろいで頂ける様にソファやTVの配置に留意しております。季節感を感じられるように中庭に樹木を植樹カウンターキッチンにて食事作りの様子や出来上りの香りなどご自宅でもある風景の再現に努めております。	採光を上手く取り入れた居間は明るくて広くゆったりとしており、事務室や台所から利用者を見守りやすい構造になっている。壁には利用者と職員合作のひな祭りの張り絵などが飾られ、梅や桃の活け花に季節が感じられ寛げる空間になっている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ご利用者それぞれにお気に入りの空間がある為、席の配置や誘導などに心掛けております。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前にご家族様と協議してご本人の馴染みの物品を持ち込みして居室にて安心して過ごして頂ける様に努めております。	広さ6畳の居室にはエアコンと洗面台が設置され、使い勝手の良いクローゼットが設えてある。居室への持ち込みは基本的に自由であり、利用者の生活に合わせて仏壇やテレビを持ち込み自由にレイアウトし思い思いの居室づくりがされている。ベッドを使用せず布団を持ち込んでいる利用者もいる。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	共用各所に手すりを整備し自立した生活が送れるようにしており、居室にはご家族様と相談にて対応している。 各トイレ扉に案内やパネルにて認識して頂ける様に配慮しております。		